

令和 年 月 日

保護者の方へ

認定こども園・市貝たいよう幼稚園園長

学校伝染病による出席停止のお知らせ

このことについて学校保健法に基づき、下記の通り出席停止になりますので幼稚園を休ませて下さい。つきましては医師と相談の上、適切な処置をとられますようお願いいたします。

1. 組 氏名 _____
2. 疾病名 _____
3. 出席停止期間 令和 年 月 日から医師の許可する日まで

*出席停止期間は欠席日数には含まれません

*なお、病気が治って登園される際には医師の許可を得て、治癒証明書を幼稚園へ提出して下さい。

治癒証明書

認定こども園 氏名 _____
市貝たいよう幼稚園園長

病名 _____

認定こども園・市貝たいよう幼稚園園長様

上記の通り治癒したことを証明します

令和 年 月 日

医師氏名 _____ 印

登園届（保護者記入）

認定こども園市貝たいよう幼稚園園長様

_____ 歳児 _____ 組

氏名 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

（病名）該当疾患に☑チェックをお願いします

<input type="checkbox"/>	溶連菌感染症
<input type="checkbox"/>	マイコプラズマ肺炎
<input type="checkbox"/>	手足口病およびヘルパンギーナ
<input type="checkbox"/>	伝染性紅斑（りんご病）
<input type="checkbox"/>	ウイルス性胃腸炎 （ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等）
<input type="checkbox"/>	RSウイルス感染症
<input type="checkbox"/>	带状疱疹
<input type="checkbox"/>	突発性発疹

<input type="checkbox"/>	伝染性軟属腫（水いぼ）
<input type="checkbox"/>	伝染性膿痂疹
<input type="checkbox"/>	頭ジラミ

（医療機関名） _____ （ _____ 年 _____ 月 _____ 日受診）
において上記と診断されましたが、その後集団生活に支障がない状態と判断しましたので、
_____ 年 _____ 月 _____ 日より登園いたします。

_____ 年 _____ 月 _____ 日

保護者氏名 _____ 印 _____

※保護者の皆様へ

上記の感染症については、裏面の表の『登園のめやす』を参考に、医師の診断に従い、登園届けの記入および施設への提出をお願いします。

医師の診断を受け、保護者が登園届けを記入することが考えられる疾患

感染症名	感染しやすい期間(※)	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と、開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間が経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と、開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病及びヘルパンギーナ	手足口病…手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間 ヘルパンギーナ…急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排出しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(りんご病)	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が全快し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	全ての発しんが痂皮(かさぶた)化していること
突発性発疹	—	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

※感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については(―)としている

感染症名	感染経路	集団生活の対応
伝染性軟属腫ウイルス(水いぼ)	集団生活、水遊び、浴場等で皮膚と皮膚が接触することにより 周囲の子どもに感染する可能性がある	水いぼを衣類、包帯、耐水性ばんそうこう等で覆い、他の子どもへの感染を防ぐ。プールの水では感染しないので入っても構わない。
伝染性膿痂疹(とびひ)	水疱やびらん、痂皮等の浸出液に原因菌が含まれており、患部をひっかいたり、かきむしったりすることで、湿疹や虫刺され部位等の小さな傷を介して感染する	病変部を外用薬で処置し、浸出液が染み出ないようにガーゼ等で覆えば、通園可能。 プールでの水遊びや水泳は治癒するまで不可。
アタマジラミ	接触感染。家族内や集団の場での直接感染、あるいはタオル、くし、帽子を介しての関節感染。	出席停止の必要はなし。ただしできるだけ早期に適切な治療をする必要がある。